新交響楽団第128回演奏会

アマチュアオーケストラ

松

●指揮
山田 一雄
新交響楽団名誉指揮者

ドヴォルザーク…交響曲第9番ホ短調
新世界より

ドビュッシー／ビュセール編…小組曲
レスピーギ…交響詩
ローマの松

1990
7月22日(日)東京文化会館

S2000円 A1500円 B(自由席)1000円
チケットのお申込み・お問合わせ□コンサートサービス☎03(263)3858 お申込み□チケットぴあ☎03(5237)9990 チケットセゾン☎03(5990)9990

“通俗名曲”を、あえて世に問う。

今度の新響は「みんなが知っている超名曲」プログラムです。新響はマーラー、邦人、の孤高のアマオケ、なんてイメージを強くお持ちの方々の目には意外に映るかもしれません。でもご心配なく。新響は客寄せのために変節したわけではありません。

3人の作曲家の出身地を地図の上に思い浮かべてください。チェコ、イタリア、フランス。見事にドイツの周辺を取り巻いています。えてしてオーケストラの演奏会はベートーヴェン、マーラー、ブラームスなどなど、特にメイン曲が独墺系に偏る傾向がありますから、わざわざこんなことを強調するのですが……。

これら3つの国の音楽は、それぞれ独特の語法を持っています。例えば「新世界より」と銘打ってはいても、ドヴォルザークのこの音楽は非常にボヘミア的です。

ドビュッシー。この人の歌には、日本人にとっては「あな恥かし」という具合になぜか我々の感覚をくすぐるものが多く含まれています。

さて、おしまいのローマの松。新響はこの曲を「終わり良ければすべて良し」の切り札としては捉えていません。

それぞれの曲の「いろ」を大切に、そしてただただハデに終わればいい演奏会は卒業し、加えてオーケストラの原点である「小地域間アンサンブルの構築」の見直し、という作業を、いつもより長い練習期間で実現させたいと考えています。

新響名誉指揮者の山田一雄さんは今年で指揮者生活50周年を迎えました。「新世界」を何回演奏しましたか、との問いには、「本当に数えきれないぐらい」という答えが確実に返ってくるでしょう。しかし実はこの選曲には、指揮者の意向が大きく反映されています。ヤマカズさんが隅々まで知り尽くした、まさに「自家薬籠中」というべきこれらの名曲を、時間をかけて練り上げていく試みなのです。

通俗名曲とおっしゃるのは大いに結構、でもアナドらないでほしい。「新世界」や「ローマの松」の、「吹奏楽コンクールの自由曲に使われない部分」にこそ是非目を向けていきたい。そういう演奏会にしたいと私たちは考えています。

(K.I)

団 員 募 集

新交響楽団では、より良い演奏活動を行なってゆくために、あなたの力を待っています。

練習時間：毎週土曜日 6 時～ 9 時

団　費：入団費 3,000円／毎月 4,000円(学生 3,000円)
連絡先：新響事務所　03-269-6513（留守番電話あり）



STEINWAY & SONS®

伝統と手作りが生んだ
世界の逸品
スタインウェイ

日本総代理店　株式会社 松尾楽器商会

本　　社　東京都港区芝大門1丁目9番1号
〒105 ☎436－4331(代)

関西営業所　神戸市中央区磯辺通2丁目2-10
〒651 ☎078－221－4071(代)

■美しいカタログを用意しております。機種名をご記入の上、お申し込みください。■お求めやすい長期ローンのお取り扱いをしております。ご利用ください。